

【「LGBT調査」これまでの推移】

2012年：5.2%…19人に1人（20～59歳までの7万人を対象）
 2015年：7.6%…13人に1人（20～59歳までの7万人を対象）
 2018年：8.9%…11人に1人（20～59歳までの6万人を対象）
 （HP「電通ダイバーシティ・ラボ」より）

速報！
「LGBT調査」
2018

延岡市立岡富中学校
じんけん通信

第6号

2019年
1月25日【文責】
人権・同和教育
担当：長友

前号は「LGBT」について紹介しましたが、先日、「自分はLGBTである」と感じている人が8.9%に上昇した、という調査結果が公表されました。新聞等でご覧になった方もいると思います。今回は、その調査結果から考えます。

昨年10月、全国の20～59歳の個人6万人を対象に、LGBTを含む性的少数者＝セクシュアル・マイノリティ（以下「LGBT」層）に関する調査が行われました。その結果、LGBT層に「該当する」と答えた人は8.9%、「LGBT」という言葉を知っている（以下「浸透率」という人は68.5%でした。

この調査は、大手広告代理店が2012年から継続して実施しているものです。調査対象の人数に違いはありますが、これまでの数値の変容から、さまざまなことが読み取れます。LGBT層に「該当する」と答えた人が前回調査よりも1.3ポイントも上昇した理由には、テレビドラマの題材になるなど、LGBT層の情報の増加や、LGBTに対する周知が進んだことが挙げられます。

さらに、今回の調査で、浸透率は前回より30ポイントも大幅に上昇しています。特に、女性や若年層ほど、より浸透している傾向が表れました。また、「これから理解していきたい」という人も増加しているそうです。

なお、この調査は20～59歳の大人（生産年齢人口）を対象としたものであり、子どもを対象としていません。しかし、該

当する人のほとんどは小学校、思春期の頃に「自覚した」と話しているそうです（LGBTの学校生活に関する実態調査2013）。そう考えると、私たちが大人がLGBTについての環境を整えていく必要があります。

では、その「環境」とは、一体何なのでしょう？ 今後また一緒に考えていきましょう。

講演会のご案内……お聞きになってみませんか？

第34回延岡市人権啓発推進大会（裏面参照）

- | | |
|-------|--|
| 1 日時 | 平成31年2月13日（水）
14:00～15:30 |
| 2 ところ | カルチャープラザ1F多目的ホール |
| 3 講演会 | 「子どもの貧困問題について」
（長崎大学准教授 小西祐馬さん） |
| 4 申込み | 下記をご利用ください。1月29日（火）までに学級担任にご提出ください。すでにお申込みされている方は結構です。 |

7.6% → 8.9%



このコーナーは返信欄に寄せられた「声」を紹介します。
 今回は第4号（ハラスメント特集）から。

○ 「社会のいじめ」（ハラスメント）がなくなる事を願います。上の立場から言われると従わないといけない風潮があるのでなかなか大変なんです。先生と生徒の関係も気を付けていただければと思います。

ハラスメントは社会に蔓延しており、加害者または被害者に、いつなるか分かりません。「信頼関係を築く」ためには褒めることや認め合うことなど、時間が必要な場合もあるでしょう。学校も同じです。肝に銘じて取り組んで参ります。ご指摘ありがとうございます。

このコーナーは人権について考え続ける場にしたいと考えています。ご感想、お待ちしております。

第6号

【ご家庭から】学級担任にお渡しください。2月13日講演会の申込みもこちらから……。

年 組／お名前

（ペンネームでもO.K.ですよ！）

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？（○・×）